

部活動始動 ～県大会始まる～

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で、年度初めの中国選手権大会県予選、県高校総合体育大会が中止となり、今年の卒業生そして2、3年生も、とても悔しい思いをしたと思います。

昨年度のことを思えば、今年度最初の県大会が無事開催されたこと本当に嬉しく思います。大会に出場する選手の皆さんには、大会が開催されるのを当たり前だと思わず、大会運営にあたって尽力していただいたすべての方々に感謝し、プレーしてほしいと思います。

今回の各競技の大会も新型コロナウイルス感染症対策を取った上での運営となり、無観客あるいは、保護者限定等の措置がとられ、大勢で歓声をあげての応援はできませんでした。私は、許可を得て下記の大会に応援に行くことができました。

1. 春季野球大会

地区予選で出雲北陵高校と対戦しました。1回の表に3本のヒットなどで幸先良く2点を先制しましたが、その裏に連打とミスも絡んで大量失点となり、結果は残念ながら負けてしまいました。しかし、攻撃面では、2回、3回いずれも一死満塁のチャンスをつくるなど見応えがありました。今年は、新入部員がすでに12名で総勢24名のチームです。チーム内で切磋琢磨し、いいチーム作りをしていって欲しいです。これからが大変楽しみです。

2. バドミントン（中国大会県予選）

男子団体戦では、1回戦出雲農林高校と対戦しました。団体戦は、ダブルス2試合、シングルス3試合の5試合で3勝した方が勝利となります。2敗し、あとが無くなったダブルスでフルセットで粘り勝ちして、続くシングルス2試合でも勝ち、3対2で逆転勝利しました。力が拮抗していたのでラリーが続く場面も多々あり、ポイントを取ったときは、やったと心の中で叫びながら拍手で応援しました。個人戦でもシングルスで3名がベスト32、ダブルスで1組がベスト16と活躍してくれました。女子団体戦は1回戦松江南高校と対戦しました。相手はシード校で今大会2位と実力差はありましたが、1ポイントでも多く取ろうと、最後まであきらめずに戦っていました。全力を尽くした実践での経験は次へのステップにつながります。

3. 女子バレーボール（中国大会県予選）

本校は、ベスト8をかけ、松江南高校と対戦しました。相手は今大会3位になった強豪校でしたが、随所に素晴らしいプレーがみられました。2セット目は序盤ではリードし、つないでつないで長いラリーを制し粘り強いプレーがいくつもありました。得点も1セット目は16点でしたが、2セット目は20点と最後まで粘ったいい試合でした。チームワークもとてもいいなと感じました。

これらの競技の他にも弓道、ソフトテニス、卓球、柔道の中国大会県予選が行われました。残念ながら私は、見に行くことはできませんでしたが、監督の先生方から、良かった点、課題となった点の報告がありました。

次の大会は県総体です。今回の大会をしっかり振り返り、分析し、課題を克服し挑んでほしいと思います。まだ部活動に入部していない新入生のみなさんは、ぜひとも入部し活躍の場を広げていって欲しいと思います。

